

施設名称	〔4〕 東京都台東区立下町風俗資料館					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2)類似施設の管理実績	文化施設5箇所					
(3)経営状況	25年度決算 歳入 594,805,759円 歳出 542,927,644円 収支差額 51,878,115円 (区返納金31,878,115円次期繰越金 20,000,000円) 監査の結果、事業報告書、決算報告書、決算付属明細書並びに財産目録は適正であった。(内部監査報告書より)					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区上野公園2-1					
(2)設置目的	台東区の特長である下町文化の保存、育成、調査研究等を行い、区民文化の振興を図る。					
(3)利用者	区民ほか					
(4)開館日・時間	開館日：休館日(月曜日/年末年始/特別整理期間等)を除く 開館時間：午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)					
(5)規模	延べ床面積1,071.16㎡ RC造 地上3階地下1階建 搭屋 収蔵庫、荷解作業室、燻蒸室、更衣室、機械室、身障者用便所、展示室、休憩室、事務室、エントランスルーム、図書室、写真室、暗室、エレベータ機械室など					
(6)人員体制	12名 常勤固有職員(1)派遣職員(1)再任用(2)区政嘱託員(1) 研究員(1)財団嘱託員(1)特例嘱託員(5)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	下町の歴史、芸術、風俗、産業等に関する実物、標本、模型、文献などの資料の収集、保管、及び展示。施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業。					
(2)自主事業	施設特別展・企画展、定期実演会(紙芝居、印章彫刻、染色工芸、べっ甲製品、看板彫刻、こども土曜塾)、伝統工芸実演会、正月実演会(大黒舞、獅子舞、南京玉すだれ、江戸凧制作)					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	19,258,000	19,719,000	18,814,000	17,251,000	16,350,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	19,258,000	19,719,000	18,814,000	17,251,000	16,350,000
決算	委託料	17,869,853	16,806,045	16,920,682	15,845,405	15,409,427
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	17,869,853	16,806,045	16,920,682	15,845,405	15,409,427
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	
開館日数	日	302	304	302	304	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
入館者数	人	58,000	59,399	59,095	55,332	

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み					
うえの夏まつりの際の開館時間延長や正月開館のみならず、桜の開花時期に合わせ、4週間に亘り休館日である月曜日にも開館するなど、来館者サービスの向上と共に、広く下町文化に接する機会を提供した。					
8. 評価項目		3: 協定等の水準を上回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。	0: 協定等の水準を下回っている。 -: 評価対象外項目。		
評価の観点	評価項目				
(1) 事業の運営 平均 [2.2]	(a) 施設の目的達成 (b) サービス水準 (c) 職員配置 (d) 職員研修 (e) 案内・接遇	[2] [3] [2] [2] [2]	(f) 開館時間等の遵守 (g) 自主事業の成果 (h) 個人情報保護 (i) 緊急時対応 (j) 警備・防犯体制	[3] [2] [2] [2] [2]	
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 (b) 備品の管理 (c) 清掃・衛生管理 (d) 施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e) 危険箇所等の確認 (f) 管理記録の作成・保存 (g) 業務委託の事前承認 (h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]	
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価 (b) 苦情・要望への対応と報告 (c) 利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d) 利用しやすい環境整備 (e) 関係団体・地域との関わり	[2] [2]	
(4) 収入支出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 (b) 管理経費の効率化	[2] [2]	(c) 収支計画の達成 (d) 利用料等の徴収・管理	[2] [2]	
9. 評価		S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。			
評価の観点	評価	説明			
(1) 事業の運営	S	東京外国語大学研修留学生の見学ツアーの受け入れや桜の開花時期に合わせた臨時開館など、来館者サービスの向上に積極的に取り組んだ。			
(2) 施設の維持管理	A	備品及び物品の管理は適切になされており、補修についてもその都度区に連絡が入っている。また、軽微な修繕については、協定書に則し、管理運営費で対応している。			
(3) 利用者の満足度	A	教育委員会と連携した学びのキャンパスプランニング事業や出前講座などに積極的に参加し、区民文化の振興に努めた。また、開館時間延長や臨時開館を行い来館者サービスの向上に取り組んだが、天候に恵まれず、入館者数は減となった。			
(4) 収入支出	A	経費節減に努め、適正に予算の執行がなされている。			
10. 総合評価		良好 妥当 要努力 要改善 不適			
		妥当	天候に恵まれず入館者数は減となったが、来館者サービスの向上や教育委員会と連携し区民文化の振興に努めるなど、積極的な事業展開を行っている。		
11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応					
平成25年度は天候に恵まれず入館者数は減となったが、区立文化施設の中で海外からのお客様を含め最も来館者が多い施設である。その立地の良さと地域との連携を活かし、より魅力ある企画展示とそのPRに力を入れ、入館者数の回復を目指していく。					